



平成 24 年 10 月 4 日

各 位

会 社 名 日本コンセプト株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 松元 孝義
(コード番号：9386)
問 合 せ 先 取締役管理部長 仁科 善生
(TEL. 03 - 3507 - 8812)

大阪証券取引所 J A S D A Q 市場への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

本資料に記載する業績予想は、平成 24 年 8 月 13 日に公表した内容と同様のものとあります。

当社は、本日、平成24年10月4日に大阪証券取引所 J A S D A Q 市場に上場いたしました。今後とも、なお一層のご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、当社の当期の業績予想は以下のとおりであり、また、最近の決算情報等につきましては別添のとおりであります。

【連結】

(単位:百万円、%)

項目	決算期	平成24年12月期 (予想)		平成23年12月期 (実績)		平成24年12月期 第2四半期累計期間 (実績)		
		構成比	前年比	構成比	構成比			
売上高		7,800	100.0	104.4	7,473	100.0	3,737	100.0
営業利益		1,310	16.8	104.0	1,259	16.9	570	15.3
経常利益		940	12.1	103.5	907	12.1	549	14.7
当期(四半期)純利益		560	7.2	104.9	533	7.1	331	8.9
1株当たり当期 (四半期)純利益		139円07銭		136,319円38銭 (136円32銭)		84円55銭		
1株当たり配当金		10円00銭		10,000円00銭 (10円00銭)		—		

- (注) 1. 当社は、平成24年6月19日付で普通株式1株につき1,000株の株式分割を行っております。そこで、平成23年12月期(実績)の1株当たり当期純利益については、当該株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行った場合の数値を()内に記載しております。
2. 平成23年12月期(実績)及び平成24年12月期第2四半期累計期間(実績)の1株当たり当期(四半期)純利益は期中平均発行済株式数により算出しております。また、平成24年12月期(予想)の1株当たり当期純利益は、公募予定株式数(450,000株)を含めた予定期中平均発行済株式数により算出しております。なお、当該株式数には、オーバーアロットメントによる売出しに関連する第三者割当増資分(最大183,100株)は含まれておりません。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上

平成24年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月4日

会社名 日本コンセプト株式会社 上場取引所 大
 コード番号 9386 URL <http://www.n-concept.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松元 孝義
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 仁科 善生 TEL 03-3507-8812
 四半期報告書提出予定日 —
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第2四半期の連結業績(平成24年1月1日~平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第2四半期	3,737	—	570	—	549	—	331	—
23年12月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 24年12月期第2四半期 329百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第2四半期	84.55	—
23年12月期第2四半期	—	—

(注) 当社では、平成23年12月期第2四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、平成23年12月期第2四半期の数値及び平成24年12月期第2四半期の対前年同四半期増減率の記載をしておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第2四半期	12,361	2,354	19.0
23年12月期	11,671	2,064	17.7

(参考) 自己資本 24年12月期第2四半期 2,354百万円 23年12月期 2,064百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	0.00	—	10,000.00	10,000.00
24年12月期	—	0.00	—	—	—
24年12月期 (予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正有無 : 無

(注) 当社では平成24年6月19日付で、1株を1,000株とする株式分割を行っております。23年12月期は、分割前の発行済み株式に対するものであり、24年12月期(予想)の1株当たり配当金については、当該株式分割調整後の内容を記載しております。

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日~平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	7,800	4.4	1,310	4.0	940	3.5	560	4.9	143.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社(社名) NIPPON CONCEPT AMERICA, LLC、除外 1社(社名)
(注) 詳細は、四半期決算短信(添付資料) P. 3「2. サマリー情報(その他)に関する事項(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、四半期決算短信(添付資料) P. 3「2. サマリー情報(その他)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年12月期2Q	3,916,000株	23年12月期	3,916,000株
② 期末自己株式数	24年12月期2Q	—株	23年12月期	—株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年12月期2Q	3,916,000株	23年12月期2Q	3,916,000株

第2四半期連結会計期間において株式分割を行いました^が、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、23年12月期の期末発行済み株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第 2 四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第 2 四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第 2 四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災の復興需要の活発化や底堅い個人消費需要などに支えられ、緩やかな改善の兆しが見え始めております。一方で、世界に目を向けますと、昨年後半以降の欧州債務問題について抜本的な解決の方向性が見られないまま一進一退を繰り返しつつ欧州の景気が減速してきており、これに伴う世界的な景気減速の懸念が払拭されない中で、消去法による円高が続くなど、景気の先行きは依然として不透明な状況にあります。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、昨年末にかけて取扱量が急減したことを受けて、期初は厳しいスタートとなりましたが、2月以降に円高がやや緩和され80円台に戻ったことで日本企業の輸出意欲が復活したことにより不調であった輸出取引が急回復し、同じく期初において低位横這い基調であった輸入、三国間取引についても、欧州向け等一部厳しい航路があるものの、全体としては回復基調で推移しております。

これらの結果、当第 2 四半期連結累計期間の売上高は3,737百万円となりました。また、利益面では、営業利益は570百万円となりました。なお、デリバティブ評価益を221百万円計上したことから、経常利益は549百万円となり、法人税等差引後の四半期純利益は331百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

財政状態の変動状況

当第 2 四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ690百万円増加（5.9%増）し、12,361百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ506百万円増加（22.6%増）し、2,745百万円となりました。現金及び預金が238百万円、売掛金が144百万円増加したことが主な要因です。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ184百万円増加（2.0%増）し、9,592百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ223百万円増加（7.9%増）し、3,037百万円となりました。買掛金が103百万円、短期借入金が153百万円、1年内償還予定の社債が35百万円増加する一方、未払法人税等が114百万円減少したことが主な要因です。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ176百万円増加（2.6%増）し、6,969百万円となりました。長期借入金206百万円の増加が主な要因です。

純資産は、前連結会計年度末に比べ289百万円増加（14.0%増）し、2,354百万円となりました。利益剰余金291百万円の増加が主な要因です。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第 2 四半期連結累計期間の業績は、輸出取引が想定を超える減少でのスタートとなりましたが、その後の円高揺り戻しに合わせて取扱が急回復し、また、輸入及び三国間取引も順調に回復基調となったことから、売上高及び営業利益は概ね予想通りに推移しております。また、今後の見通しにつきましては、欧州の景気の先行きに不透明感があるものの、我が国の景気回復と米国、新興国での景気持ち直しが期待され、輸出、輸入及び三国間取引ともに順調な回復が見込まれることから、平成 24 年 12 月期の連結業績予想につきましては変更していません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第 2 四半期連結累計期間より、新たに設立した NIPPON CONCEPT AMERICA, LLC を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(1 株当たり当期純利益に関する会計基準等の適用)

第 2 四半期連結会計期間より、「1 株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第 2 号 平成 22 年 6 月 30 日)、「1 株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第 4 号 平成 22 年 6 月 30 日)及び「1 株当たり当期純利益に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第 9 号 平成 22 年 6 月 30 日)を適用しております。

第 2 四半期連結会計期間において株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1 株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益を算定しております。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用)

当第 1 四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第 24 号 平成 21 年 12 月 4 日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第 24 号 平成 21 年 12 月 4 日)を適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成 23 年 12 月 31 日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成 24 年 6 月 30 日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,453,132	1,691,382
売掛金	684,141	828,695
その他	106,439	226,983
貸倒引当金	△ 3,826	△ 1,144
流動資産合計	2,239,886	2,745,917
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	570,596	553,478
タンクコンテナ (純額)	7,088,646	7,416,504
土地	1,281,801	1,281,801
その他 (純額)	260,994	135,135
有形固定資産合計	9,202,039	9,386,919
無形固定資産		
その他	78,635	78,704
無形固定資産合計	78,635	78,704
投資その他の資産		
その他	127,203	126,437
投資その他の資産合計	127,203	126,437
固定資産合計	9,407,878	9,592,061
繰延資産	23,309	23,147
資産合計	11,671,074	12,361,126

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成 23 年 12 月 31 日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成 24 年 6 月 30 日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	529,090	632,300
短期借入金	16,400	170,000
1年内返済予定の長期借入金	1,141,359	1,143,728
1年内償還予定の社債	334,400	369,400
リース債務	35,221	42,729
未払法人税等	340,001	225,441
賞与引当金	13,045	15,438
その他	404,471	438,552
流動負債合計	2,813,990	3,037,590
固定負債		
社債	629,000	726,800
長期借入金	4,987,100	5,193,104
リース債務	344,978	351,121
退職給付引当金	48,133	52,083
その他	783,328	646,027
固定負債合計	6,792,540	6,969,137
負債合計	9,606,531	10,006,727
純資産の部		
株主資本		
資本金	389,300	389,300
資本剰余金	315,459	315,459
利益剰余金	1,465,713	1,757,655
株主資本合計	2,170,472	2,462,415
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△ 1,570	△ 1,538
繰延ヘッジ損益	2,783	△ 75
為替換算調整勘定	△ 107,142	△ 106,402
その他の包括利益累計額合計	△ 105,930	△ 108,016
純資産合計	2,064,542	2,354,398
負債純資産合計	11,671,074	12,361,126

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第 2 四半期連結累計期間

(単位:千円)

	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成 24 年 1 月 1 日 至 平成 24 年 6 月 30 日)
売上高	3,737,332
売上原価	2,663,512
売上総利益	1,073,820
販売費及び一般管理費	503,675
営業利益	570,144
営業外収益	
受取利息	764
デリバティブ評価益	221,713
受取家賃	1,309
受取保険金	1,222
受取補償金	332
その他	905
営業外収益合計	226,248
営業外費用	
支払利息	118,564
為替差損	114,444
その他	13,626
営業外費用合計	246,635
経常利益	549,757
特別利益	
固定資産売却益	4,637
特別利益合計	4,637
特別損失	
固定資産除却損	390
特別損失合計	390
税金等調整前四半期純利益	554,004
法人税等	222,902
少数株主損益調整前四半期純利益	331,102
四半期純利益	331,102

四半期連結包括利益計算書
第 2 四半期連結累計期間

(単位:千円)

		当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成 24 年 1 月 1 日 至 平成 24 年 6 月 30 日)
少数株主損益調整前四半期純利益		331,102
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金		32
繰延ヘッジ損益		△ 2,858
為替換算調整勘定		739
その他の包括利益合計		△ 2,086
四半期包括利益		329,015
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益		329,015
少数株主に係る四半期包括利益		—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成 24 年 1 月 1 日 至 平成 24 年 6 月 30 日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	554,004
減価償却費	270,693
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△ 2,733
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,317
退職給付引当金の増減額(△は減少)	3,949
受取利息	△ 764
支払利息	118,564
社債発行費償却	4,686
為替差損益 (△は益)	385
デリバティブ評価損益 (△は益)	△ 221,713
有形固定資産売却損益 (△は益)	△ 4,637
有形固定資産除却損	390
売上債権の増減額 (△は増加)	△ 152,615
仕入債務の増減額 (△は減少)	113,126
その他	△ 8,933
小計	676,720
利息の受取額	706
利息の支払額	△ 117,456
法人税等の支払額	△ 335,335
営業活動によるキャッシュ・フロー	224,634
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△ 362,540
定期預金の払戻による収入	159,600
有形固定資産の取得による支出	△ 421,730
有形固定資産の売却による収入	5,000
無形固定資産の取得による支出	△ 394
敷金及び保証金の差入による支出	△ 381
その他	25
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 620,420
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	320,000
短期借入金の返済による支出	△ 166,400
長期借入れによる収入	790,000
長期借入金の返済による支出	△ 577,557
社債の発行による収入	295,249
社債の償還による支出	△ 167,200
配当金の支払額	△ 39,160
その他	△ 20,498
財務活動によるキャッシュ・フロー	434,433
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 4,846
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	33,800
現金及び現金同等物の期首残高	1,293,123
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,326,924

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。